

第 4 回熱海市伊豆山復興計画検討委員会
意見内容と対応方針案

日時：令和 4 年 5 月 25 日（水）15：00～16：30

場所：熱海市役所 4 階 第 1・2 会議室

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
議題 1 復興基本計画（案）について				
1	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念は、何を意味しているか解説されているべきだと思う。理念の説明の文章では、短い文章に含まれる意味合いが、もう少しはっきり書かれていた方がいい。 <p>【議事録 P 6】</p>	基本理念について	—	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 章-1. 復興基本計画の基本理念の内容を修正する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域を取り戻すの主語は誰なのか。 <p>【議事録 P 6】</p>	基本理念について	<ul style="list-style-type: none"> 「地域が」地域を取り戻す、という意味で書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 章-1. 復興基本計画の基本理念の内容を再考する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「地域で」だと、地域の皆さんが地域で取り戻すものと読める。市が先頭に立って地域を、色んなものを取り戻していくように読めるべきだと思う。もう少し書きこまれた方がいいかと思う。 <p>【議事録 P 6】</p>	基本理念について	—	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 章-1. 復興基本計画の基本理念の内容を再考する。
4	<ul style="list-style-type: none"> 「地域が」という話で、主語は誰かという話があったが、被災者のことも主語になると思う。 <p>【議事録 P 7】</p>	基本理念について	—	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 章-1. 復興基本計画の基本理念の内容を再考する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 最終的にもうちょっと手直しすれば、そんなに大きく変える必要はないと思う。 <p>【議事録 P 7】</p>	基本理念について	—	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 章-1. 復興基本計画の基本理念の内容を再考する。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
6	<ul style="list-style-type: none"> ・「住むマチ、集うマチ、安全安心の伊豆山」と考えた。 ・今まで住んでおられた方、被災して外に出られた方も含めて、もう一度伊豆山に戻ってこようという気持ちを現したのが住むマチ。集うマチは、住民だけではなくて、他の地域、観光も含めて多くの方が集まってくるような魅力的なまちにする。そして、安全安心は金科玉条の言葉だと思うので、入れ込んでいる。この案が参考になればという点で意見したい。 <p>【議事録P7】</p>	基本理念について	—	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章-1. 復興基本計画の基本理念の内容を再考する。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・復興に向けた課題の「被災者や発災後の対応に関する課題」(19ページ)には、警戒区域の内容が書かれておらず、そもそも基本計画に伊豆山の警戒区域の話がほぼない。自分たちが、この計画の中のどこに入っているのかと思っている。被災者の話から現実に即した対応を支援する等、具体的なことを盛り込んでほしい。 <p>【議事録P7～8】</p>	基本計画での警戒区域の記載方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3(19ページ)で警戒区域に触れていない点については改めて追記する。地域の声というところで書いているつもりだったが、本文の中に、皆さまの置かれた状況をしっかりと落とし込んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2章-4. 復興に向けた課題及び必要箇所の記載内容の見直しを行う。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会の持続性については、被災した土地・建物を元に戻すだけでなく、地域コミュニティを維持すること」(20ページ)と当たり前のようになっているが、被災した土地・建物を元に戻すのは 	再建に向けた支援内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者の心理的なもの、経済的なものも、課題として表現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2章-4. 復興に向けた課題及び必要箇所の記載内容の見直しを行う。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>当たり前のことではない。凄い事と理解してほしい。金銭面の課題（公費解体や建て直し・修繕等）などは書かれていないが、金銭的な支援の内容がないと伊豆山の復興ではないのでは、と感じている。</p> <p>【議事録P 8】</p>			
9	<ul style="list-style-type: none"> 第3章（25 ページ）、資料2のNo.9、10（3 ページ）は前回も質問した件だが、2～3年後に被災者が戻った際に、再建するための支援要素は入っているのか。前回質問し、事務局回答は補助に対して現在はないため、議論中と書かれているが、事務局対応では回答済みとなっている。これまでに報告もないが、どのようなになっているか。 <p>【議事録P 8～9】</p>	復興基本計画の基本的な考え方と施策について	<ul style="list-style-type: none"> 資料3（25 ページ）の「自宅の自力再建希望者の支援」は、主要な施策3（31 ページ）に該当する。主要な施策2と重複する部分もあり、もう少し明確に分けるべきと考える。 まちづくり計画で扱う事業手法において、自立再建の際に宅盤や宅地の造成部分を負担せずできる手法を提案し、自力再建の支援につなげたいと考えている。 また、宅地整備または道路整備と併せてライフラインを整えていくことを両面から効率的に効果的に進めることで考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4章 復興にむけた取組（主要な施策）の記載内容の見直しを行う。
10	<ul style="list-style-type: none"> 宅地の自力再建支援（31 ページ）には、融資等の対策も考えられる。 	施策内容について	—	<ul style="list-style-type: none"> 第4章 復興にむけた取組（主要な施策）

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>・ハードのことしか書いてないが、もう一回ここ（伊豆山）に戻って、昔以上に安心して暮らしていけるように、これからまだ何年かそういう状況がかかることに対してはそこまで支える等、ソフトのことも復興基本計画のなかでは必要だと思うため、併せて記述しておくべきだと思う。</p> <p>【議事P10～11】</p>			<p>の記載内容の見直しを行う。</p>
11	<p>・逢初川流域の一体的管理について、土地利用をどうコントロールしていくか、治水面でも流域管理も大切なので、法適用等を見直した後にどのように運用していくかということをもう少し充実して書いてもらいたい。</p> <p>【議事録P11】</p>	<p>施策内容について</p>	—	<p>・第4章 復興にむけた取組（主要な施策）の記載内容の見直しを行う。</p>
12	<p>・地域コミュニティの特性に配慮して、今後、復興まちづくりを進める時に、近隣関係も含めて再起・再生ができるようにしてもらいたい。</p> <p>・その為に、自治会とか地域コミュニティの組織や活動に必要な支援を確保するなどの配慮が必要。祭りなど地域の行事で、従来行われてきていたことが充実するよう、これから住みなおして進めることとなるが、少し長い目で見ると新規の若い住民にも住んでもらいたいのもある</p>	<p>施策内容について</p>	—	<p>・第4章 復興にむけた取組（主要な施策）の記載内容の見直しを行う。</p>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>ので、地域コミュニティの再生支援の中には具体的に想定した上で文章を書いていたきたい。</p> <p>【議事録 P12】</p>			
13	<p>・施策に「景観に配慮した地区まちづくり整備」(35 ページ)は、河川の内容が中心となっている。地区の歴史的な特性、現在の町の特徴を考えると独特の景観が従来からあり、良い市街地景観とか、郷土文化やスケールを大切にしたい市街地再生といった文言が含まれていないような気がする。</p> <p>【議事録 P12】</p>	<p>施策内容について</p>	—	<p>・第4章 復興にむけた取組(主要な施策)の記載内容の見直しを行う。</p>
14	<p>・施策「避難所・避難路の整備」(29 ページ)について、先日の降雨で高齢者避難レベル3が発令された時に、一人暮らしのお年寄りから「神社から小学校に行く道が怖い、小学校の階段を上るのが大変だから避難所に行くより家に居る方が安心だ」と言われた。</p> <p>・避難所に行く道すがら心配だから避難しない、そういう方が多い。伊豆山小学校に避難して、子どものトイレだと用を足した後に立ち上がることができない。災害のことも念頭にあるが、台風の季節、伊豆山だと土砂災害とか、他にいろいろあると思</p>	<p>避難路・避難所について</p>	<p>・一時避難場所としては、岸谷会館、仲道公民館、浜会館でお願いをしている。それ以上(指定避難所)になると、伊豆山小学校となる。</p> <p>・加えて、地域の保養所等にも、いろいろお話しているという段階。</p>	<p>・第2章-4. 復興に向けた課題及び必要箇所の記載内容の見直しを行う。</p>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>う。まずは、今居る人たちの命も助けなければいけないので、避難所、避難場所の確保も住民がこぞって避難できるようなまちづくりをしてもらいたい。</p> <p>【議事録 P12～13】</p>			
15	<p>・伊豆山小学校までの行程の話があったが、5年以上前に伊豆山7つの町内会長から市長宛に、仲道の公民館から県道のロータリーまでの市道拡張が済んでいないため、落石の危険やバスとのすれ違いが出来ず、市に早急に対応してもらおうようお願いしているが、現在どうなっているか。図面はできているとのことなので、拡張工事を早めてやってほしい。</p> <p>【議事録 P13】</p>	<p>発災前からの課題（道路の整備）について</p>	—	<p>・文書にて委員に資料提供する。</p>
16	<p>・消防車両、緊急車両について（29 ページ）、国道から仲道の箇所が進入禁止になっている。現在、第四分団は活動を浜町内で行っており、消防車両は国道下からの出動となっている。寺山方面に向かう有事の際にあの道路が使えると初動が早くなると考える。緊急車両だけでも通すことができるのであれば、検討してほしい。</p> <p>【議事録 P13～14】</p>	<p>緊急車両通行路について</p>	<p>・今の場所の件、日常生活で毎日自由に通れるということではなく、時間を決めて等ご提案をいただいているが、緊急車両も含めて、まだ危険な警戒区域の中であるということ、逢初川沿いの道には手すりやガードレールがなく、まだ危険な状況ということで、今は開放はできない状態となっている。緊急時のみ等限定的</p>	<p>・引き続き、担当部署との協議を重ね、通行可能な状況となれば、協議結果、状況を別途報告</p>

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
			<p>にでも通行可能とならないか道路の管理部門と相談をしている。場合によっては通行が可能となる条件の相談となるかもしれない。現在も、担当部署と協議をしているところ。</p>	
17	<p>・ 源頭部の脇の奥まで行ったが、大型ユンボが動いていて斜面を固めるようなことを市内の土木会社がやっていた。</p> <p>資料1には「源頭部の不安定土砂に関しては、静岡県が調査を続けていたが、3月29日に調査結果を発表し、安定施設として不安定な部分の土砂の撤去が必要との見解を示している。このため、県と市で6月までに排水対策を行うこととしています。」と書かれているが、このことを指しているのか。</p> <p>【議事録P14】</p>	源頭部の工事について	<p>・ 県と市で排水設備の整備ということで作業を進めている。市の方は、既に終わっていて、県が今月（5月）中まで工事予定で排水工事をしている。</p>	・ 回答済み
18	<p>・ ロードマップ（37ページ）に示されている被災者向け住宅の検討に2年、更に整備に2年とあるが、本当にこの程度の期間がかかるのかが議論されて書かれているのか気になる。更に基盤整備は3年半もかかる上に住宅地造成に7年かかると書いてある。トータルで10年かかる</p>	基盤整備のロードマップについて	<p>・ 住宅の自力再建希望者の支援として、実際は上・中流部で考え方は変わってくる。中流部については新しい建物を建てるために、中期まではある程度想定しなければならない。上流部に関しては、もう少し早期とい</p>	・ 第4章-4施策実施スケジュールの記載内容の見直しを行う

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>が、住宅地造成においてはどのような議論で書かれたのか教えてほしい。</p> <p>【議事録P15】</p>		<p>うところに造成整備計画を事業課としては考えている。中期以降の長期の住宅造成については、もう少し見直し、考えていく。</p>	
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川事業 (36 ページ) 被災者向けの住宅整備と宅地区整備 (37 ページ) はかなり関連するところで、それぞれの事業がちゃんと整合するようロードマップでしっかり手順を考えた上で示す必要がある。そこまでの調整ができていない感じがした。ハード面とソフト面を連携させて行いながら、細かいところまで関連性や手順を示すことは難しいと思うが、主要な部分については関連性を踏まえた上で示してほしい。 ・ 歴史を継承する地域文化の再生・形成 (37 ページ)、景観に配慮した地区まちづくり整備は、主要な施策の中ではいろいろ書いているので、それを踏まえた書き方にしてほしい。ロードマップの色の濃淡の意味がよく分からない。そういったあたりの配慮もほしい。 <p>【議事録P15～16】</p>	<p>施策実施スケジュールについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハード的な整備かどうか色が濃さの違いだが、見せ方としてはハードなのかソフトなのかを含めて表現を工夫する。 ・ 短期的・中長期的に考えて行かなければならないというようなところの色分けを整理したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4章-4 施策実施スケジュールの記載内容の見直しを行う
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロードマップの中で肝心な部分に関しては、何年までにやるというような、意思表示を書くことで、被災された方 	<p>施策実施スケジュールについて</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4章 主要な施策及び施策実施スケジュールの記載

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>が生活再建する時の重要な判断基準にもなる。事業ベースが予算等で心配があるとはっきり書けなくなることがあるかもしれないが、肝心な内容に関しては被災者の地域の状況をしっかり踏まえた上で、決意表明として書いてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に河川整備、住宅地再建の話に関しては、しっかりと期限を含めて書いてほしい。 <p>【議事録 P17】</p>			<p>内容の見直しを行う</p>
その他				
21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、既に2軒ほど神社線から上の方に帰ってきていただいている。中古住宅を買われて改装、もう1軒は新築・造成すると聞いている。立入禁止地区の別所道という道があり、車も入れない。そこは車が入れば結構いい住宅地になっている。地域の方も協力していただけるという話をもらった。 ・ もう一点広い場所で高齢者施設を作るという話がなくなり、空いている土地がある。直接話はしてないが、広い土地なので幾つかに分譲しないと難しいと感じる。例えば市が買い取り分譲する考え方もあるのかどうか聞かせてほしい。 <p>【議事録 P19】</p>	<p>区域外の用地買収について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所にもよるので、個別に様子を伺いたいと思う。一度持ち帰らせてもらい、その上で具体的な場所などを教えていただければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団（第四分団）では、発災から年末まで危険区域の中で、防災活動を行った。泥棒が出ると情報があったため、みんなで夜回りしていた。 ・ その中で気になったのは、害獣であり、家が流されたところの多くで、夜に動物が出ている。もの凄く危険なくらい。家がなくなると増えることも聞いたことがある。別所道も崩されており、人が通れないようになっている。この前初めて国道の下でイノシシを見た。観光客・子供・老人も居るということを踏まえて、何かあったら危険だと思った。 <p>【議事録 P19～20】</p>	害獣について	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地の貴重なご意見として賜る

以上